

# 農業所得の向上等に向けた支援の取組みについて

J A 愛 知 東

J A 愛知東では、平成27年10月より新たに開始した事業を加えた以下の8つの事業を主体とし取り組んできました。今後とも農業者のみならず、皆さまのご支援に尽力してまいります。また、平成29年度実績は以下のとおりであります。

金融共済部・営農部

No	支援事項	支援の概要	受付開始時期	平成29年度 見込（2月末時点）	平成28年度 実績（3月末時点）
1	農業経営にかかわる金融負担軽減に資する支援  	<b>① アグリサポート利子助成事業の拡充</b> 農業の担い手の規模拡大や設備投資を支援するため、 <b>利子助成の対象資金を拡充</b> するとともに、 <b>助成率を現行の0.5%から1.0%に拡充</b> します。	平成27年10月～平成30年度	124件 1,632千円	141件 1,462千円
		<b>② 農業資金保証料助成事業の拡充</b> 農業の担い手の規模拡大や設備投資を支援するため、 <b>保証料負担を実質0とする保証料助成の対象資金を拡充</b> するとともに、 <b>取組期間を平成30年度末（現行は平成28年度末）まで延長</b> します。	平成27年10月～平成30年度	18件 1,791千円	20件 1,724千円
		<b>③ 農機具等購入応援事業の実施</b> 農業の担い手の規模拡大や生産効率の向上によるコスト低減の取組みを支援するため、J A が推薦する組合員に対して、 <b>農機具等の購入費用の一部（本体価格の30%（上限200万円））を助成</b> します。  なお、助成上限額は、J A により異なる場合があります。	平成27年10月～平成30年度	6件 3,981千円 予算残 51千円	6件 8,857千円
		<b>④ 農機具等リース応援事業の実施</b> 農業の担い手の規模拡大や生産効率の向上によるコスト低減の取組みを支援するため、J A が推薦する農業の担い手に対して、農機具等導入に対する <b>リース料の一部（組合員：本体価格の40%（上限：400万円）/その他：本体価格の20%（上限：200万円））を助成</b> します。	第1回募集期間 平成27年7月 第2回募集期間 平成28年1月	申請終了	申請終了
2	将来の農業の担い手（新規就農者）確保にかかわる支援 	<b>⑤ 就農研修応援事業（現・新規就農応援事業）の拡充</b> 新規就農希望者に対する独立就農に向けた農業技術・知識の習得など実践的な研修を行う研修受入先への支援を更に強固なものとするため、研修受入先に対する助成金額を <b>年24万円（全国と地域の合計）から増額し、年120万円（同）を助成</b> します。	平成27年10月～平成30年度	0件 0千円	5件 4,300千円
		<b>⑥ 親元就農応援事業の実施</b> 新規就農者のうち親元就農の促進と就農後の定着化を図ることを図るため、J A が推薦する親元農家に対して、 <b>年120万円を助成</b> します。	平成27年10月～平成30年度	2件 2,400千円	5件 6,000千円
3	多様化する農業の担い手の経営課題に応えるためのコンサルティング機能の発揮 	<b>⑦ 農業経営コンサルティング事業の拡充</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営アドバイザーによる的確な<b>資金提案や資金計画の作成支援</b>等を行います。</li> <li>税理士等との連携体制を構築し、農業の担い手に対する<b>円滑な支援体制を確立</b>します。</li> </ul>	平成27年4月～平成30年度	0件0千円	0件0千円
		<b>⑧ 農業経営IT化応援事業の実施</b> J A グループ愛知が選定し、J A が推進する農業経営支援ツールを導入する農業の担い手に対して、 <b>利用料金の50%（上限：年30万円）を助成</b> します。	平成27年10月～平成30年度	4件 1,200千円	0件0千円